

平成 26 年度 新しい共通教育について語り合う会 「フクトーク」報告書

主催 福山大学 大学教育センター（全学共通教育部門）

●趣旨

学生が国際社会の中で社会人としてのスキルを身に付け、教養を深めて高い見識を持ち、豊かな人間性を培うために共通教育の役割は大きい。そのため、共通教育の今後の充実が望まれる。そこで、魅力的な授業を一緒に考え企画することを学生に呼びかけ、学習の主体者である学生の参加による企画提案型の意見交換会を開催する。

これを通じて、共通教育での学び方の工夫、学びたい科目やテーマ、学修支援のポイントをはじめ学修成果が期待できる様々な工夫やアイデアなど、魅力的な授業方法や新しい学びの創出につなげ、共通教育の充実に資する。

●日 時： 平成 26 年 12 月 13 日（土）、13 時～15 時

●場 所： 大学会館 3F、ICT 教室「CLAFT」

●テーマ： 理想の授業

- ① 外国語は英語だけじゃない！第二外国語について考えよう！
- ② eラーニングでできることは？

●参加学生

経済学部 4 名、人間文化学部 6 名、工学部 6 名、生命工学部 6 名、薬学部 6 名

計 28 名（うち、学部学科選出 25 名、公募 3 名）

テーマ①：24 名（7 名 1 グループ、6 名 3 グループ、5 名 1 グループ）

テーマ②：4 名（1 グループ）

計 5 グループ

（当初は、テーマ①では 7 名 1 グループ、6 名 4 グループで構成し、テーマ②では 6 名 1 グループの予定であったが、テーマ①で 1 名、テーマ②で 2 名の欠席者が出たため、人数に過不足が生じた）

●プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶（大学教育センター長）

13:05 全体説明（プロダクト：『新しい授業の提案』）

13:15 他己紹介、SGD の説明、3 役（司会進行係、記録係、発表者）の決定

14:40 SGD 開始

14:20 まとめと発表の準備

- 14:30 グループ発表
- 14:50 総評（全学共通教育部門長）
- 14:55 閉会の挨拶（大学教育センター長）
- 15:00 アンケート調査・解散

●スタッフ

小野准教授、地主准教授、鶴崎准教授、日暮助手（五十音順）

●要旨

共通教育について学生同士が話し合い、学生たち自身が新しい授業を企画提案することを目的とした「フクトーク」も今年で3回となった。今回は、初めて学生からテーマを募集した。残念ながら応募は1名（2つの内容）であったが、それをもとに第二外国語とeラーニングに関する2つのテーマを決定した。テーマ決定後には、参加者募集に向けて過去2回の内容などを載せた「フクトーク」のホームページも開設した。参加学生の募集方法は、学内公募と学部学科からの選出の2段階となった。参加学生が希望するテーマ毎に分かれるようにグループ分けを行った。会場は、大学会館 ICT 教室「CLAFT」を利用した。

当日の活動の進行については、まず、大学教育センター長による開会の挨拶として趣旨説明を行ったあと、司会による全体説明としてSGDの意味、プロダクト、ルール、役割の説明を行った。続いてSGDに入る前に、アイスブレイクとして、グループ内でペアを組んで相互に自己の情報提供を行い、グループの前でペアの相手が自分を紹介するという「他己紹介」の時間を設けた。そしてSGDを行うための司会進行係、記録係、発表者をグループ内で決めたあとSGDを開始した。また、SGDを始める前に、ご列席の両副学長よりご挨拶をいただいた。

SGDは、記録係が各グループに割り当てられた3面式のホワイトボードに議論のメモを行い、それをもとにプロダクトを作成した。第二外国語については、現在本学で学ぶことができない外国語を考えることもさることながら、むしろ、既存の科目でどのような学び方をすると興味をもって学習できるのかを重点的に考えてもらうようにした。eラーニングも既存の学修ソフトの利用だけでなく、ネットワークを使った楽しく効果的な授業を考えてもらうようにした。50分という限られた時間であったが、各グループとも活発に議論がなされ、「新しい授業」の科目名、授業内容、提案のポイントなどがホワイトボードにまとめられた。そして、SGDの終了10分前にプロダクトのまとめ作業と発表の準備を行った。グループ発表では、各グループの発表者がプロダクトとして「新しい授業」の科目名、授業内容、提案のポイントについて説明を行った。プロダクトとしての科目名を以下に示す。

テーマ① 外国語は英語だけじゃない！第二外国語について考えよう！

（ア） Shall we learn?

（イ） 他国を歌おう

（ウ） 韓国GO!!!!

（エ） 福大留学 韓国語（前期） 韓国を知ろう！（後期）

テーマ② eラーニングでできることは？

ネットを通じて専門教科を学ぶ

①の第二外国語については、（ア）と（イ）は言語を限定せずに、学び方の提案であった。半期から通年程度で新規の外国語を習得するのは難しいので、言語の学習というよりは文化を理解することに重点を置くような提案であった。一方、（ウ）と（エ）はともに本学にはない「韓国語」の学修の提案であった。日本に近いことや一時期の韓流ブームから、比較的身近に感じている言語であることが窺えた。

②についても新規科目というよりは、学び方の提案となった。テーマが科目を設定するには漠然としていたため仕方がないが、eラーニング教材の開発や利用のヒントになると思われる。

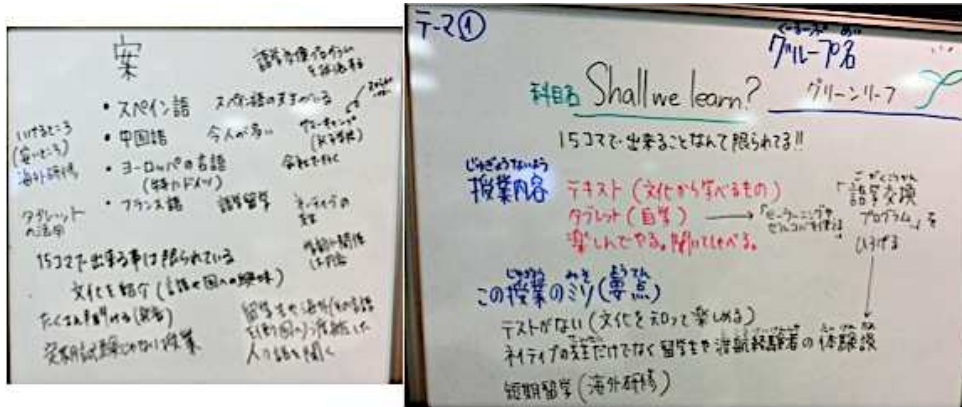
アンケート調査の結果から、参加学生のほとんどが「フクトーク」での話し合いが有意義であった、SGD への参加も良好であった、グループ人数が適切であった、提案された科目の中で実現を望んでいる科目がある、学生の意見を取り入れた新しい授業を生み出していく仕組みを求めている、次回参加への可能性がある、といった点に賛意を示していたことが分かる。また、過去 2 回は後期定期試験が終了した 2 月中旬に行っていたが、この時期は参加が難しいとの意見があったので、土曜の午後に行った。これについては、半数以上の学生が適切であったと回答したが、平日の夕方を希望するという回答も 3 割以上あるので、開催時期も含め改めて検討する必要がある。

最後に、今回も関係の多数の方々にご協力をいただいたことに、厚く御礼を申し上げたい。

●プロダクト『新しい授業の提案』 No. 1

テーマ① : 外国語は英語だけじゃない！第二外国語について考えよう！

新しい科目名 : Shall we learn?



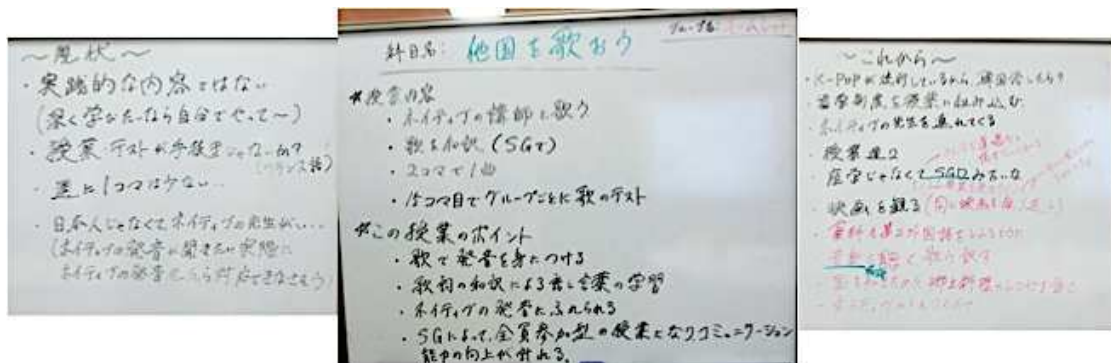
メモ(左)

まとめ

●プロダクト『新しい授業の提案』 No. 2

テーマ① : 外国語は英語だけじゃない！第二外国語について考えよう！

新しい科目名 : 他国を歌おう



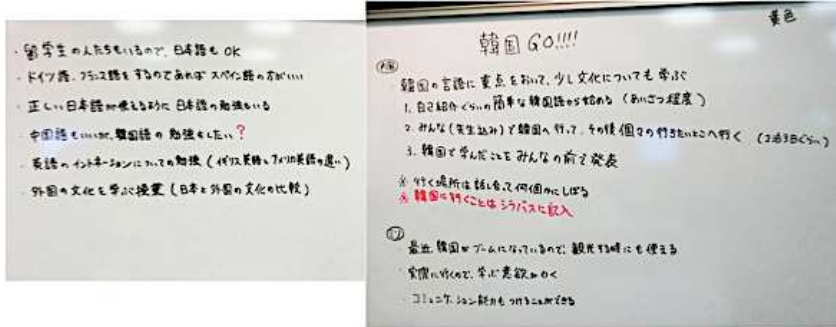
メモ(左)

まとめ

メモ(右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No. 3

テーマ① : 外国語は英語だけじゃない！第二外国語について考えよう！
 新しい科目名 : 韓国GO!!!!

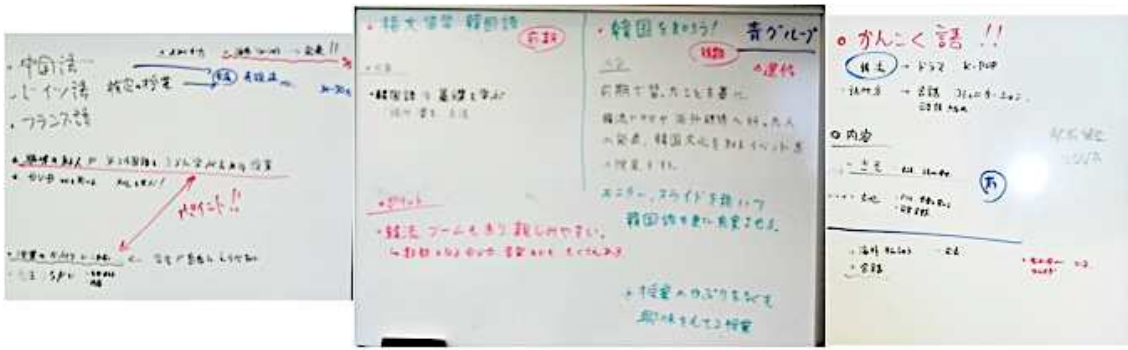


メモ(左)

まとめ

●プロダクト『新しい授業の提案』 No. 4

テーマ① : 外国語は英語だけじゃない！第二外国語について考えよう！
 新しい科目名 : 福大留学 韓国語（前期） 韓国を知ろう！（後期）



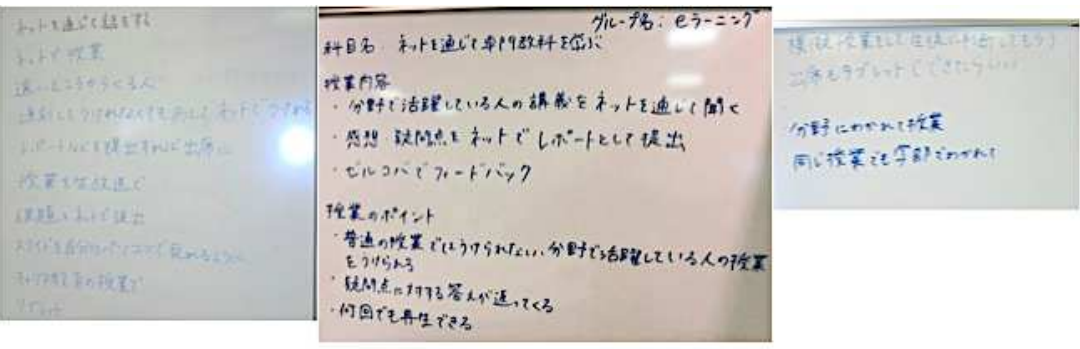
メモ(左)

まとめ

メモ(右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No. 5

テーマ② : eラーニングでできることは？
 新しい科目名 : ネットを通じて専門教科を学ぶ



メモ(左)

まとめ

メモ(右)



開会の挨拶



全体説明



SGD (スモール・グループ・ディスカッション)



成果発表

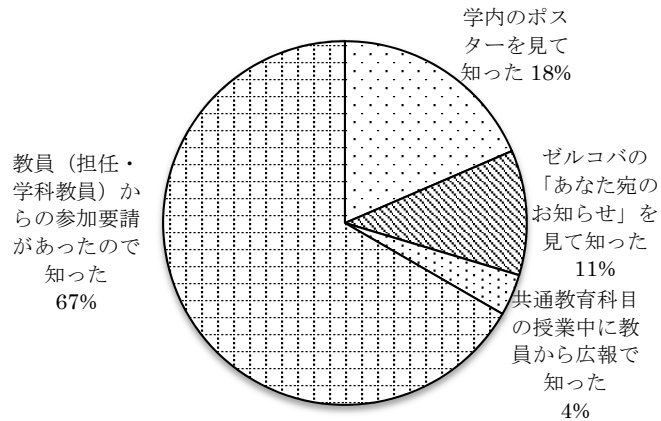


総評

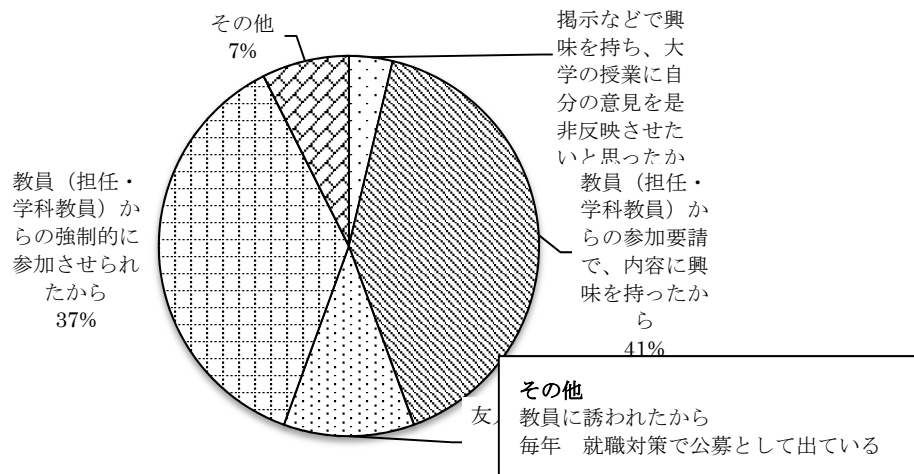
フクトーク参加者 アンケート集計結果

フクトーク参加者数 28名 うち、アンケート記入者数 27名

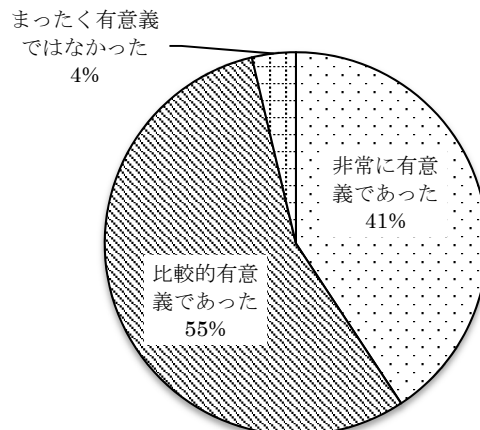
① フクトークをどのようにして知りましたか。



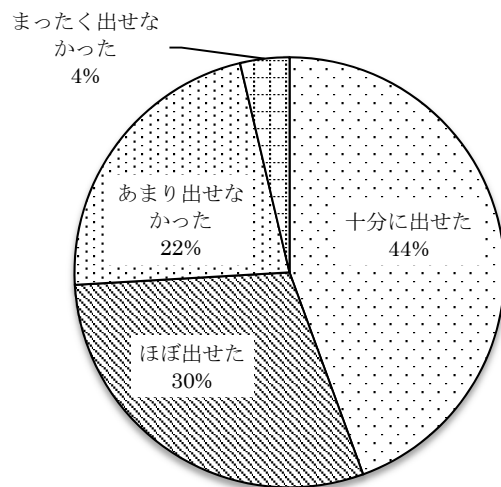
② フクトークへの参加の経緯を教えてください。



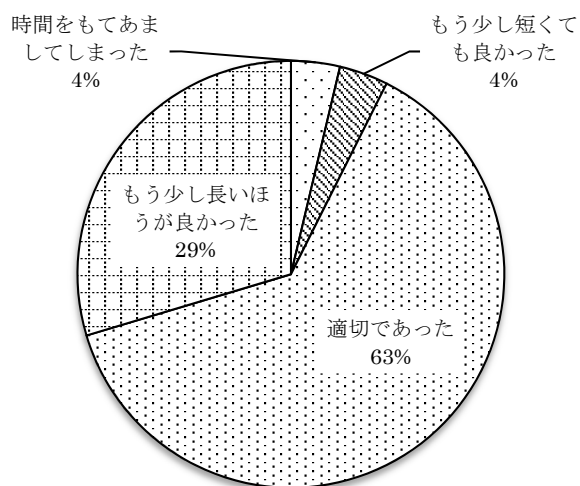
③ あなたにとって、フクトークでの話し合いは有意義でしたか。



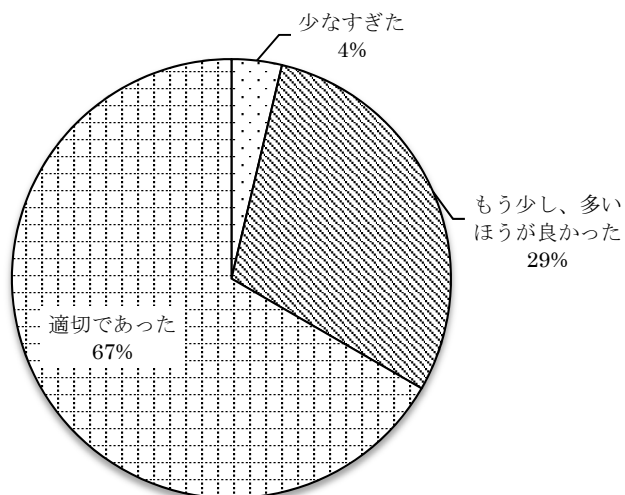
④ グループディスカッションでは、自分の意見を十分に出せましたか。



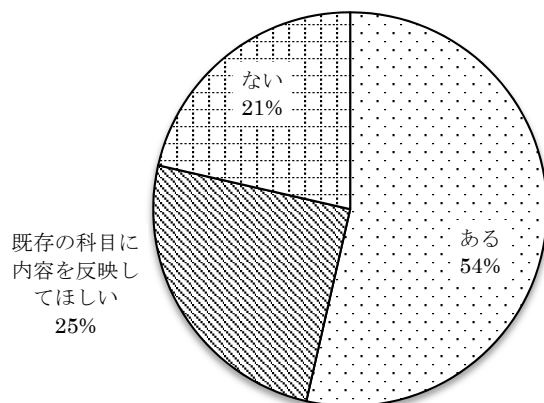
⑤ ディスカッションの時間は適切であったと思いますか。



⑥ グループディスカッションの1グループの人数は適切でしたか。



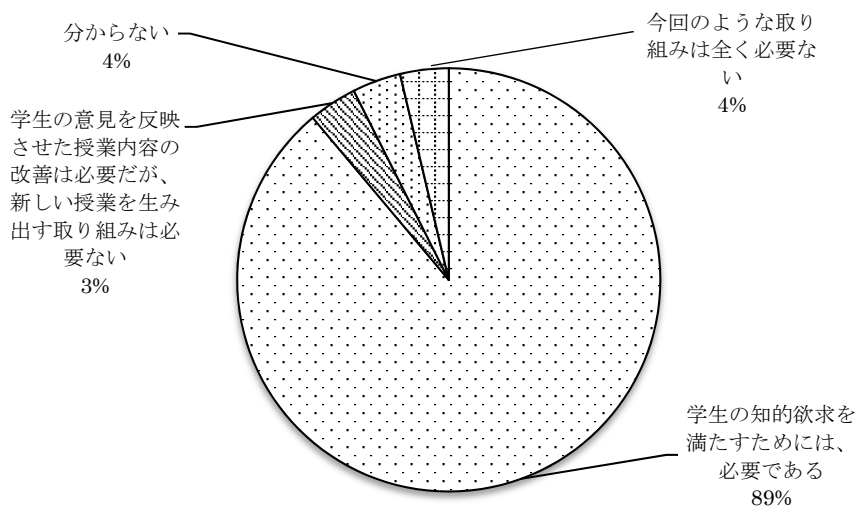
⑦ 今回のフクトークで提案された科目の中では是非実現してほしい科目はありますか。



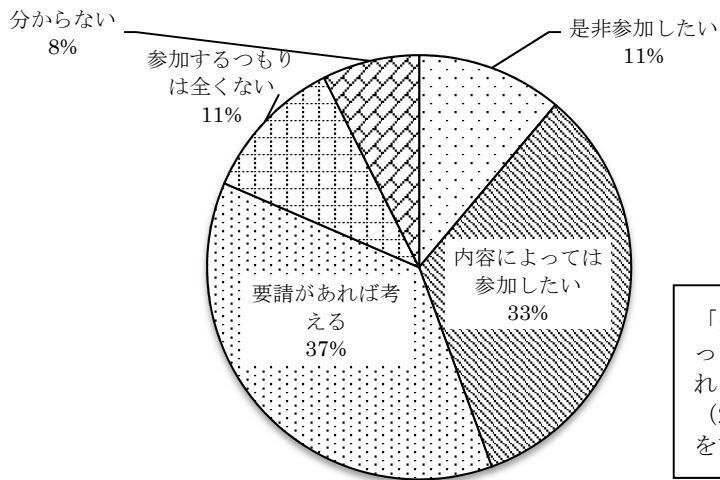
「ある」と答えた学生の科目名など	人数	備考
他国を歌おう	5	
韓国語	5	「実現を祈る」というコメントあり
Shall we learn?	3	
スペイン	1	

反映させて欲しい科目など	反映させて欲しい内容
各種外国語	ネイティブな発音を増やして欲しい
多くの第二外国語	現在の科目にさらに発展した内容をふやし、学生に興味をもってもらえるようにしてほしい
今ある外国語すべて。	文化から学んだり、ネイティブな先生 楽しくやる。海外研修の充実
ネットを通じて専門科目を学ぶ	ネットを用いた授業・講義

⑧ 今回、共通教育科目の外国語教育と教養教育について議論をしましたが、学生の意見を取り入れた新しい授業を生み出していく取り組みは、今後も必要と思いますか。

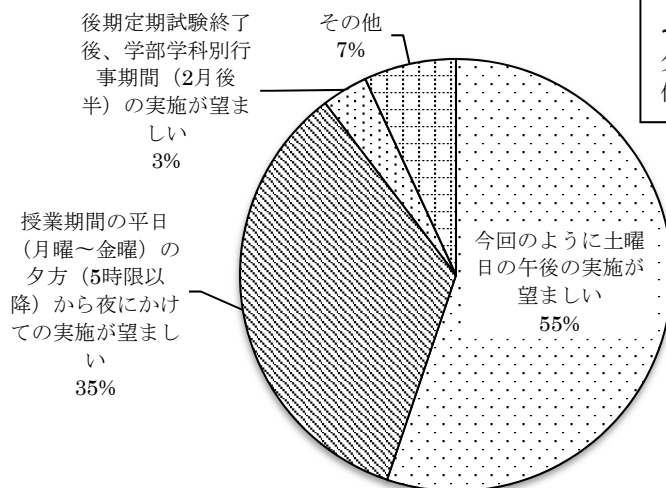


⑨ 次回のフクトークに参加したいと思いますか。



「是非参加したい」「内容によっては参加したい」「要請があれば考える」に○をつけた学生(22名)の内、連絡票に氏名等を記入したのは18名

⑩ フクトークの開催時期、時間についての考えを教えてください。



その他
分からない。その都度の対応が望ましい。
休日の午前

⑪ フクトークに参加して、思ったこと、考えたこと、改善した方がよいことなど自由に記載してください。

- SGD でチームワークを作ることができたので良かったと思います。
- "このような環境(学生同士が集まる所)は必要だと思っていたので、この企画は非常に良かったです。
- 最初先生にかんゆうされて行ったけど、正直めんどくさいなと思ってました。でも、僕は人と話すのが好きなので、この場を借りていろんな人と会話させていただきました。発表の時、何もできなくて自分が情けないと思ったので次行くときはもっと言語力を身につけようと思いました。次回もよろしく願いいたします。
- 参加した人の特典・ごほうび(第1回のような)学食(500円券)1枚等有利なものがほしい。。
- 有意義でした(2名)
- 参加が決定してから、下調べを何もして来なかったのが、参加資料が欲しかった
- ドイツ語
- グループディスカッションは難しい。
- 楽しかったです(2名)
- 他学科の人と話し合いができてよかった。・良かったです。・良かったと思う
- 特にないです。先生たち、ありがとうございます!・特になし